



2022-2023 年度 RI テーマ : イマジン ローターリー
HIRATSUKA RC テーマ : さあ 奉仕の心で 動き出そう!

平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長 : 清水 雅広 副会長 : 三荒 弘道 幹事 : 小林 誠 クラブ会報・IT 委員会委員長 : 相山 洋明

例会日 毎週木曜日 12:15~13:30

会場 グランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2022年10月6日 第3383回 週報第3383号

| | | | | | | | |
|-----------|---------|---------|-------------|------------|--------|-------|------------|
| 本日10月6日 | 会員数 63名 | 対象者 63名 | 出席者 40(40)名 | 出席率 63.49% | | | |
| 前々回 9月15日 | 会員数 63名 | 対象者 63名 | 出席者 37(37)名 | 出席率 58.73% | MUP 3名 | 計 40名 | 修正率 63.49% |

本日の卓話者ご紹介

神奈川大学サッカー部
監督 大森西三郎様



卓話

「SDGs の取組み」

神奈川大学サッカー部
監督 大森西三郎

【はじめに】

神奈川大学サッカー部は、竣工から約50年が経ち、住民の4割強が65歳以上と高齢化が進む竹山団地（横浜市緑区）の一部を学生寮として活用し、竹山団地の自治会や神奈川県住宅供給公社と連携して、周辺地域の活性化や地域コミュニティの課題解決に繋がるSDGs活動「竹山団地プロジェクト」を展開しています。団地の清掃、防災訓練、花火大会等の手伝い、高齢者へのスマホ教室などを行い、活発な交流を図っています。

【本文】

神奈川大学体育会サッカー部は、地域連携による中正堅実な人材の育成を目的・目標とし、「F+1」（エフプラスワン）の理念のもと、F（フットボール）にとどまらず、新たな要素を加えて全力で取り組むことで、サッカー選手としてはもちろんのこと、ひとりの人間として大きく成長していくことを目指している。

その一環として取り組んでいる「竹山団地プロジェク

ト」は、2020年3月に締結された「神奈川大学と神奈川県住宅供給公社との連携・協定に関する協定書」に基づき推進する、持続可能な開発目標「SDGs」達成を目指した、学生の育成・成長と地域課題の解決に向けた活動である。協定書においては、両者が立地特性や活動実績を活かして連携・協力することにより、地域コミュニティ等の諸課題に対応する地域連携の各種取組を行い、新しい知見を得て、神奈川大学と地域との連携推進及び学生の健全育成並びに団地、施設及び周辺地域の活性化に資することを目的としている。

竹山団地は、横浜市緑区の最寄駅（JR横浜線鴨居駅）からバスで10分程度場所に位置する、1971年に竣工した135棟、総戸数約2,800戸、開発面積約45ヘクタールの大規模公社住宅である。そのほとんどが分譲住宅であるが、このなかに公社賃貸の9棟、280戸を含んでいる。団地内にスーパーマーケットのほか青果店やドラッグストアなどが入る商店街、公園、病院、保育園、幼稚園、小学校などが立地している。最盛期には1万人以上が暮らしていたが、竣工から約50年がたち現在は約6,500人に減少。2020年9月の住民基本台帳によれば、この団地が立地する横浜市緑区竹山1丁目～4丁目（3,338世帯）における人口は6,594人で、このうち65歳以上の高齢者人口が2,946人と45%を占め、超高齢化社会（高齢化率21%）を大きく上回る高齢化が進展している。厚生労働省によると、日本の高齢化率は2060年に39.9%に達すると推計されており、現在の竹山団地の高齢化率45%という状況は、日本の未来社会の姿ともいえる。

少子・高齢化が進む竹山団地の課題としては、若者の減少と住民減少による地域活動の担い手の不足による交流機会の減少、防災準備機能の低下、住民間の交流や助け合い機能の希薄化などによる地域活動の弱体化などがあげられる。また、高齢者の外出機会の減少は、体力の低下や健康寿命の低下にもつながる。これらの課題は、今後、全国各地に共通する課題となることが予想される。「竹山団地プロジェクト」では、2020年度から、神奈川大学体育会サッカー部の学生が神奈川県住宅供給公社の所有する竹山団地（横浜市・緑区）の賃貸居室280戸の一部にサッカー部寮として入居し、学生が共同生活（1戸3名入居）をしながら、竹山団地の竹山連合自治会と共同して様々な取り組みを行っている。現在は1

卓話者ご紹介

大森西三郎（ゆうざぶろう）様

【生年月日】1969年12月7日（40歳）

【出身】神奈川県茅ヶ崎市

【選手歴】

茅ヶ崎市立今宿小学校（FC今宿）－茅ヶ崎市立鶴嶺中学校－藤嶺学園藤沢高等学校－中央大学－海上自衛隊厚木基地マーカス（関東1部）

【指導歴】

2001年～2003年 海上自衛隊厚木基地マーカス（コーチ）

2004年～2009年 神奈川大学体育会サッカー部（監督）

2009年ユニバーシアード日本代表：銅メダル（コーチ）

【取得ライセンス】JFA 公認 A 級ジェネラル

【所属チーム歴】

藤嶺藤沢高校→中央大学→海上自衛隊厚木基地マーカス→エリースFC東京→海上自衛隊厚木基地マーカス→神奈川大学（監督）→湘南ベルマーレ（アカデミーダイレクター兼U18監督）→星槎グループ（星槎国際高校湘南男子サッカー部総監督）

年生から3年生の44名の学生が、高齢者が住むのに不向きな4階や5階の居室に入居して地域活動に携わっており、来年2023年4月には、1年生から4年生までの約60名の学生が入居する予定である。

竹山団地に入居するサッカー部の学生は、団地の住民として団地内の活動に参加するとともに、自治会と連携して、少子・高齢化が進む竹山団地の課題に対応する「高齢者を対象としたスマホ教室の支援」「団地周辺の環境整備（清掃、池のかいぼり他）」「竹山団地防災訓練への参加」「竹山文化祭や花火大会の運営・実施への協力」などを行っている。さらに、小学校児童の学習支援や団地住民の健康増進に向けた活動についても計画が進行中である。

また、2022年春より、竹山団地に近い休耕地約600坪の畑を借り受け、以前より農業事業に参入し横浜市神奈川区で所属選手による農業を行っているサッカーJ3所属の「Y.S.C.C.横浜」と連携して、選手やコーチが耕作する「Y.S.K.U.ファーム」を立ち上げ、農業の取り組みも初めている。様々な野菜を育て、サッカー部学生と指導者が竹山団地内の食堂でつくる部員の食事の食材として使うほか、地元神奈川県産の野菜や魚、肉などにこだわって地産地消の料理を提供しているレストランにファームの野菜を提供している。

【まとめ】

「竹山団地プロジェクト」は、若者が社会に貢献し、社会が若者を育てていく共生社会の実現を目指すものであり、持続可能な開発目標「SDGs」につながる取り組みである。具体的に取り組んでいる課題は、今後、全国的に広がるのが確実である少子高齢化の課題であり、この課題の克服こそがこれからの新しい時代創りにつながるものである。少子高齢化の進展や気候変動への取り組みなど、これからの多くの課題解決に取り組むためには、一方からの視点で解決にあたるのではなく、多様な視点から問題点を明らかにして課題解決にあたることのできる人材が必要となる。「竹山団地プロジェクト」のような活動を通じて、社会的弱者と個人の多様性を大切に健全な共同体メカニズムの発展に寄与するリーダーを育成し、これらのリーダーがそれぞれの組織で影響力を発揮することができるようにすることで、新しい社会の実現につながると期待したい。



PRTIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES
Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | ス

SDGs活動で注目を集める神奈川大学サッカー部と、地産地消をすすめるレストランがタッグを組んで、SDGsの実現へ。

～学生たちが約600坪の休耕地を利用して作ったこだわり野菜メニューが誕生～

学校法人神奈川大学

2022年6月23日 13時00分



本件のポイント

- 神奈川大学サッカー部の学生が、横浜市内の休耕地を利用してつくる野菜を、地産地消をすすめるレストラン「ユニバーサルダイニングONE」に年間を通して提供が決定。SDGsオリジナルメニューも誕生
- 「農家の高齢化問題や後継者不足による休耕地問題」「地産地消による地球環境負荷の軽減」に、神奈川大学サッカー部、サッカーJ3所属のY.S.C.C.横浜、ユニバーサルダイニングONEの3者が連携し、SDGsの実現へ

神奈川大学（横浜市神奈川区／学長：小野 誠）では、サッカー部が、築50年の竹山団地（横浜市緑区）を部員の寮として活用し、竹山団地自治会や県住宅供給公社と連携して、周辺地域の活性化や地域コミュニティの課題解決に繋がるSDGs活動「竹山団地プロジェクト」を展開しています。

その一環として、農家の高齢化問題や後継者不足による休耕地問題などの課題解決につなげるべく、今年春から、横浜市緑区の休耕地約600坪の畑を借り受け、以前より農業事業に参入し、横浜市緑区で所属選手による農業を行っているサッカーJ3所属の「Y.S.C.C.横浜」と連携して、選手やコーチが耕作する「Y.S.K.U.ファーム」をス

右のQRコードより
2022年6月23日
にプレスリリースされ、
PRTIMESに掲載
された記事を
ご覧いただけます。





神奈川大学サッカー部監督の大森西三郎様と清水会長



誕生日祝いを会長より受け取られた高橋建二会員

幹事報告

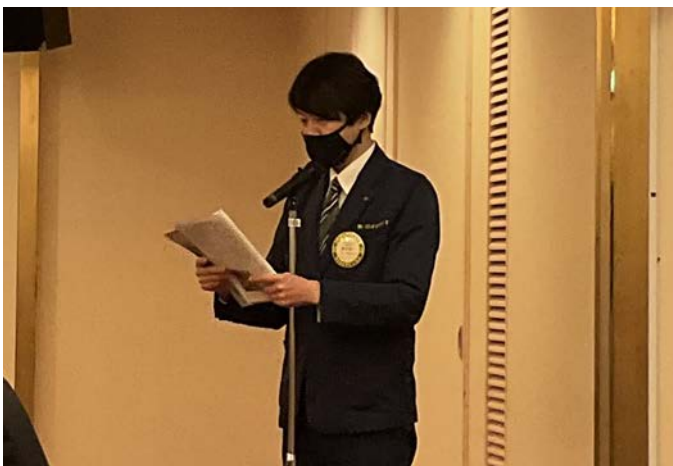
- ◎10/16(日)は地区大会が開催されます。
先ほど参加される方にはバスで会場へ行かれるか確認をさせて頂きましたが、また改めてご案内を差し上げます。バス利用者は午前10:00に平塚北口NTT前に集合してください。
また、当日は平塚RCから二名が登壇し表彰されます。ロータリー大賞で柏手前年度会長と米山寄付優秀クラブで三荒前年度財団委員長です。
- ◎来週 10/13(木)は16日の地区大会に移動例会となりますので、例会場での例会はございません。
ご注意ください。次の通常例会は10/20(木)となります。

今週のお祝い

- 誕生日祝い・・・高橋建二会員、山本恵(めぐむ)会員
- 結婚祝い・・・杉山昌行会員、木村義広会員、片野之万会員、大澤一仁会員、山本恵会員
- 入会記念月・・・升水一義会員、常盤卓嗣会員、鳥海衛一会員、鈴木忠治会員、秋山智会員、米山範明会員

委員会報告

○プログラム委員会 嶋田委員長
今月の卓話の予定をお知らせいたします。本日は神奈川大学サッカー部監督の大森様。
来週は地区大会へ移動例会となりますので、例会場での例会は休会となります。
10/20は米山奨学生の馬躍航さんの卓話です。
10/27は奈良県立郡山高校教師の坊佳紀様に卓話をお願いしております。



月初恒例 ロータリーの友の紹介

メイクアップ (MUP) 3名

常盤卓嗣会員、鳥山優子会員、丹治淳子会員

本日のスマイル 18名

ゲスト 2名

神奈川大学サッカー部監督 大森西三郎様
(株)サンライフ 常務取締役 笹尾茂樹様 (入会予定者)

ビジター 0名

卓話・行事予定

10月13日(木) 移動例会 10月16日(日)地区大会へ
10月20日(木) 米山奨学生 馬躍航さん
10月27日(木) 奈良県立郡山高校 教師 坊佳紀様

市内例会変更

現在ございません

